

どんぐり村の こみ・すく通信

令和8年6月10日発行

令和8年度 第6号

更別村コミュニティ・スクール委員会事務局(教育委員会)

みんなの学校応援団の活動を紹介<その2> JAさらべつ青年部と更小5年生

5月19日(火)、JAさらべつ青年部の皆さんのご協力をいただき、更別小学校5年生がカボチャの種を植えました。



学校農園に来てくれたのは、宗宮部長を中心とする青年部20名。この日のために約一週間前の13日に畑を耕し、地温を上げるためマルチ(黒いプラスチックフィルム)をかけて準備をしてくれていました。

植えたカボチャの種は、「ケント」とジャンボカボチャの「アトランチック・ジャイアント」。児童たちは青年部員の方々に教えてもらった通りに種を蒔き、その後、芽がしっかりと出るように水をあげていました。



JA青年部は、農業を通じて地域に根ざした社会貢献に取り組んでいます。更別村では、学校・園等と連携し、作物の播種・収穫・加工の食育活動等を推進しています。

作業終了後、青年部から「カボチャが収穫できるのは何日後?」「更別でカボチャを生産している農家は何件?」等、農業に関するクイズが5問出され、児童たちはいろいろと考えていました。

村内各小中学校のグラウンド転圧をしていただきました

4月下旬に山内組様が更別小学校と更別中央中学校のグラウンドを、北央道路様が上更別小学校のグラウンドを、無償(社会貢献の一環)で転圧してくださいました。学校のよりよい教育環境をつくっていただき、大変ありがとうございました。

更中ごみ拾い隊実施 「ごみ拾い」で地域へ感謝の気持ちを示す

5月11日(月)に、更別中央中学校の全校生徒が縦割り(学年関係なく)4班に分かれごみ拾いをしてくれました。ゴミ拾いをすることで環境を守り、街をきれいで安全にし、自分や地域にも良い影響を与えてくれます。中学生の皆さん、大変、お疲れ様でした。



自分の命は自分で守る

4月28日(火)に村内小学校2校で、更別駐在所、村交通安全指導員、役場住民生活課の皆様にご協力いただき、交通安全教室を行いました。本教室は、日常生活の中に潜む危険を予測し、交通ルールを守りながら安全に行動する力を身に付けることを目的として実施したものです。



自転車に乗る時はヘルメット着用を。

しっかりと手を挙げ、左右確認も。

